

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

【研究課題名】栄養サポート対象となった患者の声の聞き取りやすさと各種臨床データとの関連について』

【研究機関名】東邦大学医療センター大森病院

【研究責任者】栄養治療センター 職位・氏名管理栄養士 平澤数馬

### 【研究の目的】

栄養管理は全ての治療の上で共通する基本的医療の一つとして重要であることが認識されており、2006年には栄養管理実施加算の上乗せ加算として栄養サポートチーム加算の算定が可能となり、栄養サポートチームはかなり普及しました。本格的な栄養管理体制が築かれ、栄養管理は全ての患者の基本的医療であるという考え方が浸透しつつあることが知られています。そこで、東邦大学医療センター大森病院栄養治療センターでは栄養サポートチーム活動の成果を数値化して明らかにすることで現状と成果、今後の課題を明確にしていくことを目的とし本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、今後の日本の栄養サポート業務の強化、特に栄養アセスメントの成果に繋がります。

### 【研究対象および方法】

この研究は東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2004年から2024年の間に東邦大学医療センター大森病院栄養サポートチームにて栄養サポートを受けられた方

方 法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

疾患名、病状、栄養ルート、食事摂取量、輸液内容、処方薬剤、退院先、在院日数

身体状況（身長、体重、BMI、体温、脈拍、血圧、各種体組成など）

各種生化学検査（血清アルブミン、血清CRP、血清コリンエステラーゼ、血清トランスサイレチン、血清総コレステロール、血清中性脂肪、血算、白血球分画など）

栄養アセスメント項目（上腕周囲長、上腕三頭筋皮下脂肪厚、上腕筋囲長、上腕筋面積、ピンチトラック、握力、声の聞き取りやすさなど）

### 【利益相反について】

研究グループが、公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床試験が企業の利益の為に行われているのではないかとか、臨床試験の結果の公表が公正に行われないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じことがあります。これを「利益相反（患者さんの利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）」と呼びます。本研究実施担当者には民間企業との間に利益相反状態が存在していません。

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはできません。本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター大森病院 栄養治療センター

職位・氏名管理栄養士 平澤数馬

電話03-3762-4151 内線3515